



## 『北陸地域ICTイノベーションセミナー2014』を開催 ～ 平成26年度SCOPE研究成果発表会 ～

北陸情報通信協議会では、平成26年6月16日（月）、金沢エクセルホテル東急において、北陸総合通信局、ICT研究開発機能連携推進会議（HIRP）、各研究代表機関との共催により、平成26年度情報通信月間行事の一環として、「北陸地域ICTイノベーションセミナー2014」を開催し、約80名の参加がありました。

冒頭、伊丹北陸総合通信局長が、「『イノベーション』を醸成するには、官民それぞれが、社会の課題を共有しつつ、オープンにできる技術やノウハウを開示し、連携・協働による新たな技術やシステム構築、サービスの実現などにつなげていくことが重要。今後とも、ICTの技術開発と地域の課題解決という2つのアプローチをうまくかみ合わせ、相乗効果が発揮するよう、一緒に考えていきたい。」と挨拶しました。

基調講演では、富田 二三彦 氏（独立行政法人情報通信研究機構（NICT）理事）が、「ICTを利用して地域社会をリフォームしましょう」と題して、NICTが行っている最先端研究の紹介と、その成果の社会還元への取組を紹介した上で、「少子高齢化が急激に進む中、20年後を見据えた新しいビジネスは地方から生まれるので、NICTとしても積極的に地域貢献を行ってきたい。」と講演されました。

その後、平成24年度及び平成25年度に北陸地域で採択された「戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）」プログラムの「地域ICT振興型研究開発」の5課題について、各研究代表者等が研究の概要と成果を発表しました。

- 「地域活性化のための共生型モデルシミュレーションの研究開発」  
株式会社MINAMI 常務取締役 伊東 順一 氏
- 「在宅医療に向けたクラウド型地域連携医療システムの研究開発」  
福井大学医学部 教授 井俣 彰夫 氏
- 「ソフトウェア制御と近距離無線通信を利用して地域の賑わいと安全を創出する多目的情報通信システムの研究開発」 福井大学大学院工学研究科 准教授 橋 拓至 氏
- 「柔軟なインタフェースによる健康データの登録・参照プラットフォームの研究開発」  
北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 准教授 吉高 淳夫 氏
- 「在宅医療と介護の為にアラームアドバイザー支援システムの研究開発」  
福井大学医学部 講師 山村 修 氏

また、会場内に設けた各研究機関のデモ・展示ブースでは、多数の参加者が研究内容の説明を熱心に受けていました。



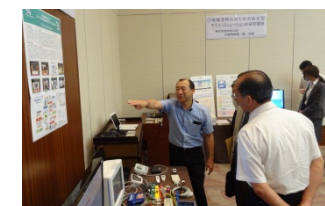
【主催者挨拶：伊丹局長】



【基調講演：NICT 富田理事】



【セミナーの様相】



【デモ・展示ブースの様相】